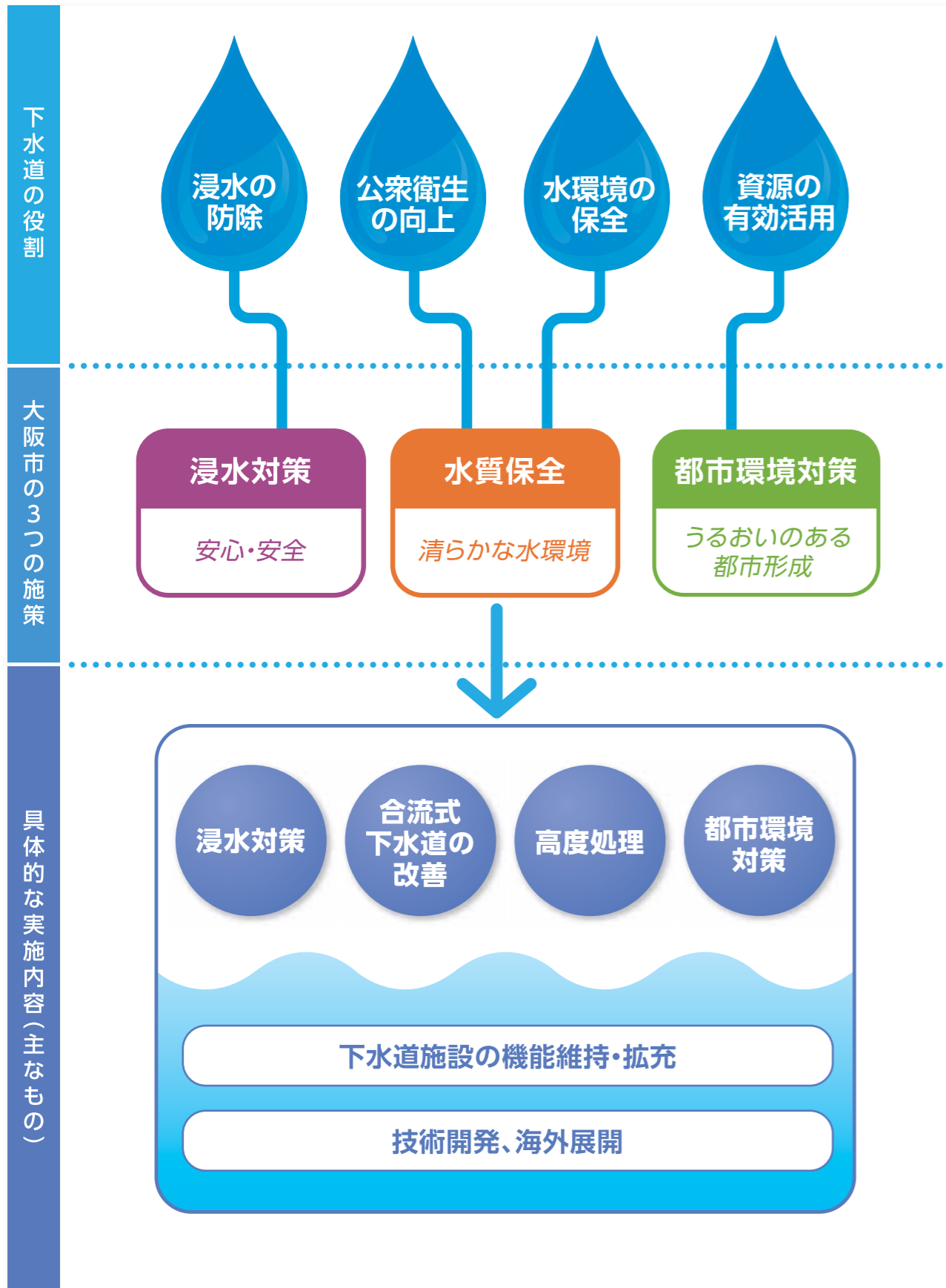


## 下水道の施策体系(イメージ)



## 大阪市の3つの施策

大阪市では、

- ・浸水のない安全で快適な都市の形成を図る「浸水対策」
  - ・健全な水環境の創出を図る「水質保全」
  - ・人と環境にやさしい快適な都市環境の形成を図る「都市環境対策」
- の3つの施策のもとで下水道事業に取り組んでいます。

### 浸水対策

詳しくは7ページへ

市域の市街化が進んだことにより、雨が浸透する地面が舗装化され、雨の大半は下水道管へと一時に集められるようになりました。そのため、浸水のリスクは高まり、下水道管の役割はさらに重要になっています。

近年頻発する都市型水害から生命・財産を守るため、ハード・ソフトの両面から浸水対策を進めています。

#### ハード対策

概ね10年に1度の大雨(1時間あたり60mmの降雨量)でも浸水しないまちづくりをめざし、下水道幹線の建設やポンプ施設の新増設を行います。

#### ソフト対策

公助や自助・共助により、浸水被害を早期に軽減できる取り組みを推進し、市民への啓発を行っています。

### 水質保全

詳しくは9ページへ

水質環境基準を達成・維持し、さらには人が水と親しめるより清らかな水環境の創出に取り組んでいます。

#### 合流式下水道の改善

大阪市では、市域の大部分を汚水と雨水をまとめて流す合流式により下水道を整備しているため、雨の強さが一定の水準を超えると、雨水とともに汚れの一部が河川等に放流されます。この現象を改善するため、雨天時に高級処理をする水量を増大させる処理法を導入し、未処理の汚水が河川等へ直接放流されないように雨水貯留管等を建設しています。

#### 高度処理

大阪湾流域別下水道整備総合計画(流総計画)に基づき、リンや窒素、有機物などの除去を一層進めるための高度処理施設の整備を進めます。

#### 下水汚泥の集中処理

汚泥処理の効率化及び環境負荷低減のため、トラック輸送を廃止し各下水処理場間で汚泥のパイプ輸送化を行い、脱水機及び炉を保有する処理場を集約化しています。

### 都市環境対策

詳しくは11ページへ

汚泥や消化ガス等の下水道資源を有効活用し、環境に配慮した省資源型社会の形成をめざします。

#### 下水道資源の有効活用

下水道が有する資源(エネルギー、処理水・汚泥・廃熱など)や下水処理場等の下水道施設の空間をあらゆる局面で有効に活用しています。

#### 地球温暖化への取り組み

地球温暖化対策実行計画に基づく省エネや創エネ等を通じた地球温暖化の抑制にも取り組んでいます。